

業界情報の紹介コーナー

2026年7月の知っていた方が良い情報（月刊）第59号

1. 【2026年6月の国内新車販売台数について】（前年比プラス表示）

国内新車販売台数は、前年比1.8%増と3カ月連続プラス(426,883台)

順位	ブランド	6月	1～6月累計	順位	ブランド	6月	1～6月累計
1	トヨタ	141,567(19%)	763,568(5%)	8	スバル	7,854(▲12%)	49,941(▲11%)
2	スズキ	63,679(2%)	372,105(▲1%)	9	レクサス	7,276(▲5%)	41,051(▲7%)
3	ホンダ	57,904(18%)	320,604(0%)	10	いすゞ	5,841(▲2%)	36,576(0%)
4	ダイハツ	45,361(▲9%)	280,607(7%)	11	日野	3,451(25%)	19,068(2%)
5	日産	37,327(7%)	217,287(▲2%)	12	三菱ふそう	3,390(17%)	18,648(23%)
6	マツダ	13,851(18%)	76,641(▲6%)	13	U D	1,049(7%)	6,197(0%)
7	三菱	11,714(4%)	66,907(10%)			217,287	179,960(▲3%)

※なぜ増えた⇒6月迄、環境性能税の廃止による顧客の負担額が10万円以上の差が出た為、先延ばしが増えた

2. 【現在のオイル調達に向けた情報について】

- ①DH-2は、代替不可なので最優先課題(中国製のDH-2は慎重に⇒DPF詰まりや清浄性リスク)
- ②顧客には1～2回分のストックを推奨します
- ③秋、冬の価格安定を見越して夏は最低限の仕入れを考える(現状、価格高騰している為、夏の必要量に絞り秋以降に仕入を戻す戦略が有効)

3. 【オイル調達に向けた6月時点の価格動向】

- ①価格に関して年内中は上昇傾向が見られます(ベースオイルは1.5～2倍に高騰しています)
- ②添加剤も毎月値上げ状態になっています
- ③流通コストも複合的に上昇しています

4. 【オイル調達に向けた今後の見通し7月～年末】

- ①供給量は緩やかに改善する可能性が高いです(7月以降、石油元売りの出荷量が増加傾向。一部のメーカーで出荷停止解除が始まりました:6/25～)
- ②価格は秋冬まで高止まり(専門家の見立てでは3ヶ月以内には供給は改善し秋冬には安定)
※中東情勢によっては追加値上げの可能性もある
- ③本格的な価格の下落は2027年以降の可能性もいがない(ベースオイルの回復に時間がかかる為との見方も出ている)

